

幼稚園の教育目標

心情豊かな優しい子ども 自分で考え行動できる子ども 元気に活動するたくましい子ども

1、本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

- ① 保育者の人材確保と、質の高い幼児教育の提供をするための工夫、研修を行う。
- ② 当園の教育理念をもとに、鷺の宮幼稚園らしさを広く知らせ、理解と協力を求める。
- ③ 満3歳児保育の充実と子育て支援を積極的に行う
- ④ ウイルス感染防止対策を徹底し、実現可能な行事、活動を展開させる。

2、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由	学校関係者評価
1 保育の計画性	A	コロナ禍でも実現可能な計画、企画を行うことで、子どもたちの経験を確保することを心がけた。3密を避けながらではあったが、職員会議を重ね、安全な環境の下での実施できることが増え、まん延防止等重点措置が出されても臨機応変に対応できたと思う。行事の新たな工夫、試みも見られ充実したものとなった。	A
2 保育のあり方 幼児への対応	A	一人ひとりの傾向や特徴にあった対応を心掛けた。特に援助が必要な子どもについて職員間の情報共有を心掛けた。臨床心理士と契約することにより気軽に相談でき、子どもをより総合的に見る視点ももてた。	A
3 教師としての資質、能力、 良識、適正	B	文科省による「学校の新しい生活様式」をもとに、さまざまな話し合いの下、アイデア等を出し合うことができた。お互いの意見を尊重しながら、チームワークを大切にしながら進めてきた。が、消毒やその他、今までにない業務が増えたことやコロナ対応による会議が増えたことで、職員の余裕がなく、自己研修ができにくい状況は続いている。	A
4 保護者への対応	B	今年度よりアプリを使った連絡帳機能に切り替えた。それ以外にも電話、コースで会った時など、保護者の方とコミュニケーションをとる努力をしてきたが、コロナ禍のため保護者との接点は少なくなっている。	A
5 地域の自然や社会との かかわり	C	感染予防対策のため、ほとんどできなかった。自然とかかわりは全職員の課題として挙げられている。	C
6 研修と研究	C	感染予防対策におわれ、研修しあう機会を持つことができなかった。	C
7 外部アンケート	A	園児ひとり一人を大切に、そしてそれぞれの保護者様の気持ちに寄り添うことを心掛けてきた。昨年度に比べ、ほとんどの項目で高評価をいただいた。	A

4、本年度の重点課題の総合的な評価結果

コロナ禍の1年ではあったが、幼稚園側の方針や思いを保護者の方がご理解、ご協力くださったおかげで充実した1年とすることができた。行事も含め、さまざまな体験を子どもたちに提供できた。が、感染対策のため、幼稚園開放が中止となったり、外部の方に園の活動を知っていただく機会は少なかった。満3歳児クラスの教室を増築し、入園者数も増えた。が、今後も幼稚園の外部へのアプローチは工夫が必要である。また、より質の高い保育の提供を心がけ、教員の研修、幼稚園の環境整備に努めたい。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
地域(自然)との関わり	・感染対策をとると共に、幼稚園で実現可能なことを探す ・職員の苦手意識を減らしていく。
教員の資質向上	・それぞれの得意分野を生かし、研修できる環境を整える。 ・発達がゆるやかな子どもへの対応方法を学ぶ。 ・時間的、精神的な余裕を持てるよう業務を見直す。
保護者との関り	・園から、保護者に対して、積極的に声をかけていく。 ・保護者の方が話しかけやすい環境、機会を更に増やすよう努める。 ・「おうちえん」のアプリを活用し園の様子もリアルタイムで伝えていく。

6、学校関係者評価委員からのコメント

コロナ禍の中でも、消毒作業や昼食の工夫を行って頂いて、休園することがなく、とてもありがたかったです。  
また、アプリの導入により、園への連絡が効率よくなりましたが、連絡帳機能は通知が来ないので気が付きにくいので、改善して頂けるとありがたいです。

\* 結果の表示方法 A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが成果が十分に出ない D 取り組みが不十分